

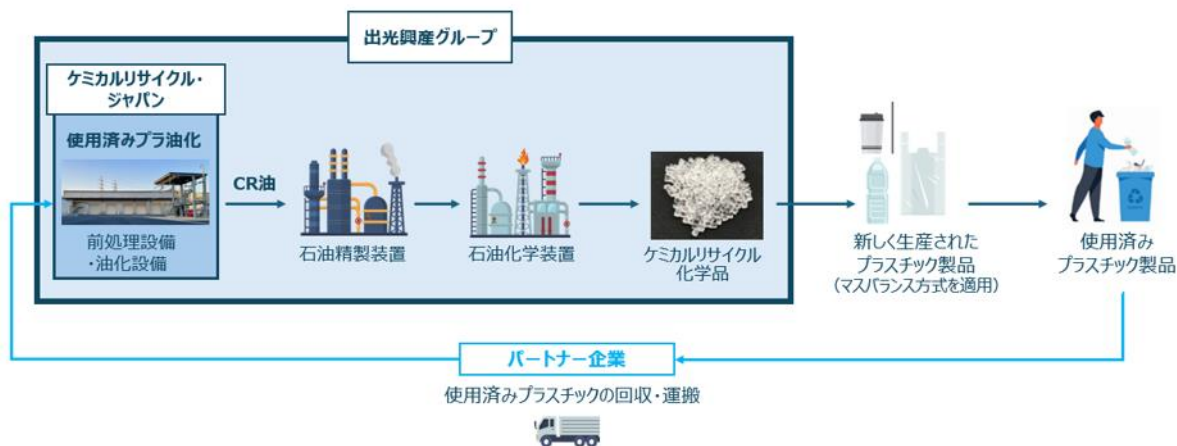
2026 年 9 月 28 日

出光興産株式会社

出光グループ内で 使用済みプラスチック由来の油からナフサまでの一貫製造を実現 資源循環の取り組みをさらに推進

出光興産株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：酒井則明、以下「当社」）と、子会社のケミカルリサイクル・ジャパン株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：岡村仁彦、以下「CRJ」）は、CRJ 市原事業所の油化ケミカルリサイクル設備で生産した使用済みプラスチック由来のケミカルリサイクル油（以下「CR 油」）※を、当社千葉事業所（所在地：千葉県市原市）の石油精製装置で処理し、CR 油からナフサを製造しました。これにより、パートナー企業からの使用済みプラスチックの調達、油化、石油精製装置での処理、ナフサ製造までを出光グループ内で一貫して行う、資源循環型ケミカルリサイクル製品の供給体制を構築しました。今回の取り組みは、サーキュラービジネス推進の重要なマイルストーンとなります。

※ CR 油：ケミカルリサイクル油。使用済みプラスチックを油化して生産した軽質原油相当の油。



本事業のイメージ図

近年、循環型社会の実現に向けて、プラスチックの資源循環の重要性が一層高まっています。こうした中、当社は使用済みプラスチックを再び資源として活用する油化ケミカルリサイクル事業の社会実装に取り組んでいます。2026 年 4 月には CRJ 市原事業所が商業運転を開始し、CR 油の生産を開始しました。今回、この CR 油を当社千葉事業所の既存の

石油精製装置で処理し、使用済みプラスチック由来のナフサ製造を実現しました。製造したナフサは再び石油化学製品の原料となり、プラスチックなど様々な身近な製品に生まれ変わります。

当社は 2026 年 5 月に公表した[中期経営計画（対象年度：2026－2030 年度）](#)において、「循環型経済の拡大を見据えたサーキュラービジネス展開」を成長分野の一つとして位置付けています。また、油化ケミカルリサイクル事業のさらなる拡大に向け、同年 6 月には油化ケミカルリサイクル設備 2 号機の基本設計を開始しており、1 号機で得られた知見を反映しながらさらなる改良を進めていく予定です。今回の取り組みは、当社が目指すサーキュラービジネスの具体化に向けた重要な一歩です。当社は CRJ とともに、油化ケミカルリサイクル事業の拡大を通じて使用済みプラスチックの資源循環を推進し、循環型経済の実現と経済安全保障の強化に貢献していきます。

【参考】

INFORMATION：[ケミカルリサイクル・ジャパン株式会社、2026 年 10 月 1 日付で「出光ケミカルリサイクル・ジャパン株式会社」へ社名変更（2026 年 9 月 28 日付）](#)

プレスリリース：[油化ケミカルリサイクル設備 2 号機の基本設計を開始（2026 年 6 月 30 日付）](#)

プレスリリース：[使用済みプラスチックの再資源化に貢献する油化ケミカルリサイクル設備の商業運転を開始（2026 年 4 月 28 日付）](#)

ビジネス映像メディア「PIVOT」(YouTube)：[資源に乏しい日本の知られざる「都市油田」ープラごみを『石油』に変える理由](#)

当社の油化ケミカルリサイクル事業について、執行役員と担当者がゲストと共に語ります。

～ 本件に関するお問い合わせ先 ～

出光興産株式会社 広報部広報課

https://www.idemitsu.com/jp/contact/newsrelease_flow/index.html